

「業界理解セミナー（横浜薬科大学）」で募集広報

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原1陸尉）は、12月12日（月）、横浜薬科大学（横浜市戸塚区）において、自衛隊横須賀病院で勤務する薬剤幹部の支援を受けて「業界理解セミナー」に参加した。

同セミナーには、9社の製薬会社に参加し、自社の魅力をアピールした他、自衛隊ブースでは、薬剤幹部が入隊後の幹部自衛官のキャリアや病院での勤務状況、海外での活動などを説明し、薬剤官としての仕事のやりがいや重要性を紹介した。来場した学生は、自衛隊における薬剤官の活躍の場の多さに驚いている様子であった。また、説明終了後の個別質問では、「幹候補のための試験対策」や「薬剤官に求められること」などを真剣な眼差しで質問している姿が印象的であった。

上大岡募集案内所は「今後も、つなぎ広報により、幹部自衛官の魅力をアピールし続け適質な人材の確保に努めていきたい」としている。



個別質問に答える
薬剤幹部（左端）と平原所長



薬剤官の業務等について
説明する薬剤幹部

横浜サイエンスフロンティア高校での特別講義を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、12月12日（月）、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校において、防衛医科大学の加來浩器教授及び防衛医科大学の中山宜典准教授による特別講義を支援した。

この特別講義は、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）等に指定されている同校より、生徒の科学的思考力を育成するために、第一線で活躍する防医大及び防大の教授による講義を是非お願いしたいとの依頼があり実現したものである。

同講義では、防医大の加來教授は「感染症の危機管理」、防大の中山准教授は「宇宙を翔る技術『イオンエンジン』について、それぞれの研究内容や体験談等を織り交ぜながら講義を行い、生徒たちの「もっと知りたい」という知的好奇心を醸成した。

生徒からは、「感染症への取り組みを知ることができた」「なぜ感染したのかを調べていく作業は、探偵のようで面白かった」「航空宇宙工学に興味があり受講した。もっと勉強して、将来同分野を学べるよう努力していきたい」との声を得ることができた。

横浜出張所は、「今後も、高校等との関係を密にし、防衛省所管の大学校に対する理解をより深めてもらえるよう努力する」としている。



感染症について講義する防医大の加來教授

自衛隊協力5団体合同忘年会を支援

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 長林2陸尉）は、12月16日（金）、相模原市民会館（相模原市中央区）において行われた相模原地域自衛官募集相談員会、隊友会 県北支部、父兄会相模座間地域会、防衛協会 県相協力会及び同友会から成る自衛隊協力5団体の合同忘年会を支援した。

同忘年会には、松田本部長や、募集課長（山口2陸佐）も招かれ、同団体の代表者らとの親交を深めるとともに、厳しい募集状況に立ち向かう決意を新たにしている。

相模原地域事務所は、「今後も自衛隊協力団体との連携を密にし、組織的募集を通じて、目標達成に向け更にまい進していく」としている。



募集難に立ち向かうため、
声高らかに乾杯